

平成30年度

「苫小牧市男女平等参画基本計画（第3次）」施策別実施状況

苫 小 牧 市

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
<b>基本目標Ⅰ 男女平等参画の意識改革 / 推進の方向1 男女平等参画の推進</b>					
1	男女平等参画の推進 (1)男女平等参画都市宣言の普及・啓発 男女平等参画社会の実現に向けて男女平等参画都市宣言の普及と啓発に努めます。	① ・男女平等参画都市宣言啓発リーフレットをホームページで周知 ・会議やイベント等で男女平等参画都市宣言文を配布 ・市庁舎に男女平等参画宣言都市PR懸垂幕を通年で掲揚 【新規】・男女平等参画都市宣言文を掲載した小・中学生向けの男女平等参画に関するリーフレットを作成 ・都市宣言啓発名刺台紙の配布  ② ・講座・講演会開催時の配布資料・テキストに宣言文を印刷し配布 ・男女平等参画推進講座開催時に宣言文の唱和を実施	① 名刺台紙の配布終了	① 【継続】 【新規】・小・中学生向けの男女平等参画に関するリーフレットを配布  ② ・講座開催時の配布資料に宣言文を印字し配布するのは継続	総合政策部 ①協働・男女平等参画室 ②指定管理施設/男女平等参画推進センター
2	(2)市民・団体、企業、行政の連携と協働 男女平等参画社会を目指すために必要な連携・協働の仕組みづくりに努めます。	① 【新規】・「苫小牧市男女平等参画を推進する市民会議」3月開催 参加者19人・傍聴16人(市民団体・企業との連携)  ② ・男女平等参画講座 平等社会について語ろう～気づき合うわたしたち～ 5・7・11月開催、参加者延べ31名(平等社会を推進するネットワーク苫小牧との共催) ・男女平等参画推進講演会「女性の今と未来(これから)について考える」9月開催、参加者46名(平等社会を推進するネットワーク苫小牧との共催) ・女性の人権講演会「若年層への性暴力とポルノ被害を学ぼう」2月開催、参加者70名(NPO法人ウィメンズ結との共催) ・北海道胆振東部地震チャリティーイベント「できることからはじめるIPPO」9月開催、来場者1000名(できることからはじめるいっぽ(IPPO)との共催)	② ・男女平等参画社会を目指すため人材育成講座を実施予定	① 【継続】  ② 【継続】	総合政策部 ①協働・男女平等参画室 ②指定管理施設/男女平等参画推進センター

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
3	男女平等参画の推進 (3)男女平等参画に向けた平和意識の高揚 男女平等参画社会の実現に向けて、恒久平和の意義及び非核三原則の趣旨について広く市民に普及するよう努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生広島派遣事業(7月末)</li> <li>・原爆パネル展(8月)</li> <li>・折り鶴コーナーの設置(6月)</li> <li>・懸垂幕の掲示</li> </ul>	原爆パネル展のマンネリ化防止のため、展示方法などの変更を行う	【継続】	総合政策部政策推進課
4	(4)人材育成、活動団体の支援 人材育成を目的とする男女平等参画に関する研修会等に市民を派遣します。また、市民が主体となって行う男女平等参画にかかる学習や推進活動を支援します。	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア)苫小牧市女性団体等学習活動援助事業 5団体7回の活動を支援 参加者158人</li> <li>(イ)平等社会を推進するネットワーク苫小牧へ補助金等で活動を支援</li> <li>(ウ)国立女性教育会館主催の男女共同参画推進フォーラムに男女平等参画推進団体から1人、一般公募から1人を派遣し、報告会を実施</li> <li>(エ)苫小牧市女性団体等学習活動援助事業の援助内容や男女共同参画推進フォーラムの一般公募をホームページで周知</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苫小牧市婦人団体連絡協議会へ補助金等で活動を支援</li> <li>・苫小牧市婦人団体連絡協議会と共催の講演会を実施</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア)女性団体等学習活動援助事業を男女平等参画推進センターに移管し、団体活動の活発化につなげる</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【継続】</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【継続】</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合政策部協働・男女平等参画室</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育部生涯学習課</li> </ul>
5	広報・啓発活動、情報収集・提供の充実 (1)広報誌・情報誌等による広報活動の推進 市民や団体、企業等に男女平等参画の理解を深めてもらうために、広報誌や情報誌、またインターネットの活用など、多様な媒体を用いて啓発活動を行います。	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画週間に合わせて、「日本女性会議2017とまこまい」の写真展及び男女平等参画に関する「ことばのパネル展」をコトマで実施</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等参画情報誌「ふりーむ28号」1500部発行。ホームページへの掲載、各公共施設・道内男女センターへ配布のほか、講座受講者・市民団体等に配布</li> <li>・ホームページ・ブログ・facebook等を活用し情報を発信</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会の動向を把握したうえで、啓発活動を充実させることが課題</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>web媒体は更新頻度やアクセス数増を目指す</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【継続】</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【継続】</li> </ul>	<p>総合政策部</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協働・男女平等参画室</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理施設/男女平等参画推進センター</li> </ul>

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
6	<p>広報・啓発活動、情報収集・提供の充実</p> <p>(2)学習会・講演会等による啓発活動の推進 さまざまな課題を取り上げた学習会や講演会等を開催し、啓発活動を行います。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政監理室と連携し官民合同研修「ワーク・ライフ・バランス講座」及び「イクボス養成講座」10月開催 参加者約50人</li> <li>・男女平等参画に関する出前講座を実施</li> <li>【新規】・苫小牧市ワークライフバランス等企業表彰式で男女平等参画記念講演「ワークライフバランスと女性の活躍」12月開催 参加者約100人</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活に関する内容、男性も参加できる内容、日本文化伝承の内容等、様々な角度からの生涯学習講座を企画、開催 前期講座・後期講座・時期的講座 全29講座 受講者延べ2204名</li> <li>・男女平等参画講座 平等社会について語ろう～気づき合うわたしたち～ 5・7・11月開催、参加者延べ31名</li> <li>・女性のための起業セミナー7月開催、参加者13名</li> <li>・健康講座「ストレスに負けない7つの習慣」8月開催、参加者15名</li> <li>・女性のエンパワーメント講座 子育て中の私を大切にするために「ママのための体と心のセルフケア」8月開催、参加者15名</li> <li>・男女平等参画推進講演会「女性の今と未来(これから)について考える」9月開催、参加者46名</li> <li>・女性のための健康講座「ママを元気にする育児ストレス解消法」11月開催、参加者20名</li> <li>・女性活躍推進講座「がんばってなくても大好きだよ」～池永流・ワタシと子どものごきげんの見つけ方～2月開催、参加者20名</li> <li>・ワークライフバランス講座「子育てを大変から楽しいに変える魔法」2月開催、参加者63人</li> <li>・地域防災講座 1枚で多彩な防災用具に早変わり!「防災ふろしき講座」3月開催、参加者17人</li> <li>・女性の人権講演会「若年層への性暴力とポルノ被害を学ぼう」2月開催、参加者70人</li> <li>・日本金融政策金融公庫主催 女性のための創業相談会11月開催 相談者延べ2名</li> <li>・女性活躍推進事業もやもやおはなし会12・2月開催 参加者延べ23名</li> </ul>	<p>①</p> <p>社会の動向を把握したうえで、啓発活動を充実させることが課題</p> <p>②</p> <p>市民の講座に対するニーズ等を把握したうえで、講座の充実に努めることが課題。男女平等参画に関する講座や女性活躍促進に関する講座等の企画開催と充実に努める</p>	<p>①</p> <p>【継続】</p> <p>②</p> <p>【継続】</p>	<p>総合政策部</p> <p>①協働・男女平等参画室</p> <p>②指定管理施設/男女平等参画推進センター</p>

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
7	広報・啓発活動、情報収集・提供の充実 (3)男女平等参画関連の情報収集と提供 男女平等参画推進センターを中心に、男女平等参画に関する法律・制度の図書資料や関連情報の収集と提供に努めます。	・雑誌や新刊図書を購入し、図書資料の充実を図る ・男女平等参画に関する資料や女性関連施設発行情報誌、新聞記事、女性の起業に関する資料などを収集・提供 ・国立女性教育会館(NWEC)から男女平等参画に関する図書資料を100冊借用し、展示や貸出しに対応(11~2月) ・図書貸出人数275名、貸出冊数658冊(うち、NWEC本貸出冊数45冊)	関連図書資料のさらなる充実が必要と考える	【継続】	総合政策部 (指定管理施設/男女平等参画推進センター)
8	(4)各種調査の充実 男女平等参画に関わる各種調査の充実を努めます。	① 男女平等参画に関する市民意識調査の結果をホームページで周知  ② 正規従業員5人以上を雇用している事業所を対象に労働基本調査を実施。結果はホームページに掲載	① 苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)の中間見直しに合わせて調査を実施予定	① 【継続】  ② 【継続】	①総合政策部 協働・男女平等参画室 ②産業経済部 工業・雇用振興課
9	男女平等参画に関わる諸問題の相談体制の充実 相談・苦情処理 男女平等参画に関わる相談や、市が行う男女平等参画に関する施策に対する苦情、男女平等参画を阻害するおそれのある問題に関する申出に対し、関係機関と連携し適切な対応に努めるとともに、申出制度の周知を図ります。	① ・市が行う男女平等参画の推進に関する施策に対する苦情等の申出制度についてホームページで周知 ・ハラスメント相談の実施  ② ・女性弁護士による無料法律相談 年3回7・11・3月開催 相談者延べ16名、託児利用1名 ・女性のための働き方相談 開催日 年3回5・9・1月開催 相談者1名 ・女性のための起業相談 9~3月実施 相談者延べ99名、託児利用19名 ・一般相談 通年 相談者延べ4名	① ・周知の徹底が課題 ・市実施のハラスメント相談を男女平等参画推進センターへ移管  ② 相談事業の充実を図る	① 【継続】  ② 【継続】 ハラスメント相談の実施(6・12月)	総合政策部 ①協働・男女平等参画室 ②指定管理施設/男女平等参画推進センター

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署	
<b>基本目標 I 男女平等参画の意識改革 / 推進の方向2 男女平等参画の視点に立った教育の推進</b>						
10	家庭における男女平等教育の推進	(1)家庭教育に関する学習機会の充実 社会の慣習や慣行にとらわれず個人として認め合う家庭教育が行われ、健全な家庭を築くよう母親父親に対する学習機会と情報提供の充実に努めます。	① ・男性を対象にした料理講座「男のキッチン」5-6月・10-11月開催、参加者延べ245名 ・親子を対象にした料理講座「小学生親子料理教室」7月開催参加者延べ60名 ・子育て中の方・家族を対象にした講座 (ア)女性のエンパワメント講座「子育て中の私を大切にするために「ママのための体と心のセルフケア」8月開催、参加者15名 (イ)女性のための健康講座「ママを元気にする育児ストレス解消法」11月開催、参加者20名 (ウ)女性活躍推進講座「がんばってなくても大好きだよ」～池永流・ワタシと子どものごきげんの見つけ方～2月開催、参加者20名 (エ)ワークライフバランス講座「子育てを大変から楽しいに変える魔法」2月開催、参加者63人  ② ・家庭教育相談随時実施 ・「道民家庭の日」啓発(ポスター掲示) ・子ども育成課と連携し利用者へ支援員による児童センターへの出張相談	① 市民の講座に対するニーズ等を把握したうえで、講座の充実に努めることが課題。男女平等参画に関する講座や女性活躍促進に関する講座等の企画開催と充実に努める  ② HP等で家庭教育相談を受け付けているがあまり浸透していないように思われるため周知方法について検討していく	①【継続】  ②【継続】	①総合政策部(指定管理施設/男女平等参画推進センター) ②健康こども部青少年課
11	(2)家庭責任を担う意識の醸成と学習機会の充実 家事・育児・介護などの家庭責任を男女がともに担う意識の醸成を図り、特に男性の生活・自活能力を高める学習機会の充実に努めます。	・男性を対象にした料理講座「男のキッチン」5-6月・10-11月開催、参加者延べ245名 ・親子を対象にした料理講座「小学生親子料理教室」7月開催参加者延べ60名 ・子育て中の方・家族を対象にした講座 (ア)女性のエンパワメント講座「子育て中の私を大切にするために「ママのための体と心のセルフケア」8月開催、参加者15名 (イ)女性のための健康講座「ママを元気にする育児ストレス解消法」11月開催、参加者20名 (ウ)女性活躍推進講座「がんばってなくても大好きだよ」～池永流・ワタシと子どものごきげんの見つけ方～2月開催、参加者20名 (エ)ワークライフバランス講座「子育てを大変から楽しいに変える魔法」2月開催、参加者63人	市民の講座に対するニーズ等を把握したうえで、講座の充実に努めることが課題。男女平等参画に関する講座や女性活躍促進に関する講座等の企画開催と充実に努める	【継続】	総合政策部(指定管理施設/男女平等参画推進センター)	

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
12	学校における男女平等教育の推進 (1)人権尊重や男女平等教育の推進 人権の尊重や男女平等、相互理解・協力についての指導の充実を図ります。また、多様な選択が可能となるよう性別にとらわれず個々の能力や個性の伸長を図る教育を推進します。	① 【新規】小・中学生向けの男女平等参画に関するリーフレットを作成 ② ・「特別の教科 道徳」の時間や「特別活動」において、人権尊重や男女平等・相互理解教育を推進 ・のびゆく苫小牧に男女平等参画都市宣言を掲載	① 小・中学校における男女平等参画教育の一助として、男女平等参画に関するリーフレットを配布 ② 「特別の教科 道徳」の教科書や「私たちの道徳」を活用するなどして、道徳の時間や特別活動において、人権尊重や男女平等・相互理解教育の充実を図ることが課題	① 【新規】小・中学生向けの男女平等参画に関するリーフレットを配布 ② 【継続】	①総合政策部 協働・男女平等参画室 ②教育部指導室
13	(2)家庭科教育の推進 男女がともに家庭生活での責任を担うために家庭科教育の充実を図ります。	小学校では、「家庭の仕事や生活時間の使い方などに関する実践的・体験的な学習活動の充実」を、中学校では、「幼児との触れ合いや家族・家庭に関する実践的・体験的な学習活動の充実」を図りながら、家庭科教育を実施	指導主事による学校教育指導において、家庭科教育の一層の充実を図る	【継続】	教育部指導室
14	(3)いじめやセクシュアル・ハラスメントの根絶 学校内でのいじめやセクシュアル・ハラスメントの根絶に向けて家庭や地域、関係機関との連携を強めます。	児童生徒が当事者として主体的にいじめの問題に取り組む力を育むことを目的として、第6回「苫小牧市いじめ問題子どもサミット」を開催 協議1 「どのような取組をしたら、身の回りで起きているいじめを拾い上げることができますか。個人でできること、児童会・生徒会でできることを考えましょう。」 協議2 「いじめられたとき、『相談しない』と回答する人を『0(ゼロ)』にするために、どのような取組をしますか。個人でできること、児童会・生徒会でできることを考えましょう。」	第7回「苫小牧市いじめ問題子どもサミット」において、子どもがより主体的な取組となるよう内容の充実を図る	【継続】	教育部指導室

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
15	学校における男女平等教育の推進 (4)教材等への配慮 道徳や特別活動の時間などにおいて、教材や題材に配慮し、男女平等の考え方に立った指導を行います。	学習指導要領に基づいた「特別の教科 道徳」や、教材や題材に配慮した「特別活動」の指導を行う 【特別の教科 道徳】 教科書や「私たちの道徳」の計画的・効果的な活用 【特別活動】 望ましい人間関係を形成する力を養う活動の充実・工夫	道徳の教科書や「私たちの道徳」を家庭に持ち帰るなどして、家庭や地域においても活用を図るよう啓発	【継続】	教育部指導室
16	(5)学校関係者の意識の高揚 学校教育に携わる教職員や関係者が、男女平等参画の視点に立った教育を進められるよう意識の高揚を図ります。	教職員等を対象とした研修講座を実施 【市教育研究所研修講座】 生徒指導・道徳教育・特別支援教育・情報教育・不登校問題等	今日的な教育課題に対応する講座を設定	【継続】	教育部指導室
17	社会における男女平等教育の推進 (1)学習機会の充実と多様なプログラムの提供 生涯各期の市民の学習ニーズに対応する学習機会の充実と、多様なプログラムの提供に努めます。	① ・家庭生活に関する内容、男性も参加できる内容、日本文化伝承の内容等、様々な角度からの生涯学習講座を企画、開催 前期講座・後期講座・時期的講座 全29講座 受講者延べ2204名 ・自主事業講座「こども・ものづくり教室」1講座 受講者8名 ・女性の人権講演会 70名 ・男女平等参画推進講座、講演会 全13講座 受講者延べ240名 ② 生涯学習講座前期・後期実施 ・男性向け料理講座、健康講座、子ども学習講座等 ③ ・生涯学習だより(年2回)、サークルガイド(年1回)を発行 ・とまこまい市民カレッジや、長生大学を開催(文化交流センター)	① 市民の講座に対するニーズ等を把握し、講座の充実に努める。また、男女平等参画に関する講座や女性活躍促進に関する講座等の企画開催と充実に努める ② 課題 ・個人的趣味に留まる講座が多い ・男性受講者が多い →人や地域と繋がる講座を企画	① 【継続】 ② 生きがいや地域活動啓発講座の実施 ③ 【継続】	①総合政策部 (指定管理施設/男女平等参画推進センター) ②市民生活部 市民生活課 ③教育部生涯学習課



平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
18	<p>社会における男女平等教育の推進</p> <p>(2)女性団体等の育成と社会参画につながる学習機会の充実 女性団体等が行う学習活動を支援します。また、生涯学習を通して身につけた知識や技術を社会に還元できる学習機会の充実に努めます。</p>	<p>① 講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活に関する内容、男性も参加できる内容、日本文化伝承の内容等、様々な角度からの生涯学習講座を企画・開催 前期講座・後期講座・時期的講座 全29講座 受講者延べ2204名</li> <li>・男女平等参画講座 平等社会について語ろう～気づき合うわたしたち～ 5・7・11月開催、参加者延べ31名</li> <li>・女性のための起業セミナー7月開催、参加者13名</li> <li>・健康講座「ストレスに負けない7つの習慣」8月開催、参加者15名</li> <li>・女性のエンパワーメント講座 子育て中の私を大切にするために「ママのための体と心のセルフケア」8月開催、参加者15名</li> <li>・男女平等参画推進講演会「女性の今と未来(これから)について考える」9月開催、参加者46名</li> <li>・女性のための健康講座「ママを元気にする育児ストレス解消法」11月開催、参加者20名</li> <li>・女性活躍推進講座「がんばってなくても大好きだよ」～池永流・ワタシと子どものごきげんの見つけ方～2月開催、参加者20名</li> <li>・ワークライフバランス講座「子育てを大変から楽しいに変える魔法」2月開催、参加者63人</li> <li>・地域防災講座 1枚で多彩な防災用具に早変わり!「防災ふるしき講座」3月開催、参加者17人</li> <li>・女性の人権講演会「若年層への性暴力とポルノ被害を学ぼう」2月開催、参加者70人</li> <li>・日本金融政策金融公庫主催 女性のための創業相談会11月開催 相談者延べ2名</li> <li>・女性活躍推進事業もやもやおはなし会12・2月開催 参加者延べ23名</li> </ul> <p>②サークル活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等参画推進センターサークル協議会のサークル活動を支援</li> <li>・定期的に活動するサークルに対して部屋使用を優先的に支援</li> <li>・情報誌や掲示板等によるサークル活動の情報提供(随時)</li> <li>・プチギャラリーでの個人・サークルの作品発表によるPR支援</li> <li>・サークル育成 講座修了生によるサークルの立ち上げと活動</li> </ul> <p>継続支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民へのサークル活動の情報提供(随時)</li> </ul> <p>③男女平等参画にかかる市民団体に対する活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等参画にかかる市民団体に対する活動支援として、部屋使用料免除による部屋提供</li> </ul>	<p>市民の講座に対するニーズ等を把握したうえで、講座の充実に努めることが課題。男女平等参画に関する講座や女性活躍促進に関する講座等の企画開催と充実に努める</p>	<p>【継続】 ・女性団体等学習活動援助事業の実施</p>	<p>①総合政策部 (指定管理施設/男女平等参画推進センター)</p>

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
基本目標Ⅰ 男女平等参画の意識改革 / 推進の方向3 性の尊重など人権についての認識の浸透					
19	性の尊重についての意識の啓発 (1)学校における性教育の充実 人間尊重と男女平等の精神に基づき、子どもが成長段階に応じ性に関する知識を身につけ、適切な意思決定や行動選択ができるよう指導の充実に努めます。	・「こころの授業」の開催(全小・中学校) ・性教育の実施(全小・中学校)	外部講師による「こころの授業」を道徳教育の一環として取組を推進する	【継続】	教育部指導室
20	(2)性の尊重や性の多様性、母性保護への理解 性の尊重や性の多様性、母性保護に対する理解を深めるための学習機会の充実や広報・啓発に努めます。	① ・図書資料の配置、他機関からの情報収集、広報誌の配置 ・母性保護に関する啓発カードの設置協力 ② (ア)苫小牧市内高校生向け性教育講演会の開催、実施8回・受講者数1,801名 (イ)保護者向け性教育講演会の開催、受講者21名 (ウ)妊娠葛藤相談窓口の周知 ・妊娠SOSカードの配布・設置(公共施設、ドラッグストア、カラオケ、高校など39箇所) ・健康カレンダー、ホームページ、フェイスブックによる周知	② 高校生等に性に関する正しい知識の普及を図る	① 【継続】 ② 昨年度に引き続き、高校生対象の性教育講演会を開催し、実施校の拡大、参加者の増加に努める	①総合政策部 (指定管理施設/男女平等参画推進センター) ②健康こども部健康支援課
21	(3)青少年への有害環境の浄化 有害環境排除モニターを中心に、性や暴力等に関する過激な情報に関し、危険箇所の点検を実施し排除に努めます。また、児童・生徒を性犯罪等から守るための運動の推進に努めます。	(ア)連絡協議会 3回開催 (イ)青少年の問題行動や非行問題などの情報を共有し、各地域で見守り活動を通じた地域の情報収集に反映させる		【継続】	健康こども部 こども支援課
22	(4)リプロダクティブ・ヘルス/ライツの意識の浸透 女性の人権の視点からリプロダクティブ・ヘルス/ライツの意識の浸透を図ります。	① 図書資料の配置、他機関からの情報収集、広報誌の配置 ② 各種研修会に保健師が参加し、理解を深める	② 意識の浸透を図るために、今後も保健師個々が理解を深める必要がある →各種研修等に参加し、スキル向上を目指す	① 【継続】 ② 【継続】	①総合政策部 (指定管理施設/男女平等参画推進センター) ②健康こども部健康支援課

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
23	男女平等参画の視点に立った表現の配慮 市の広報・出版物等における適切な表現の配慮 市が発行する広報誌や出版物等において、情報を得る対象は多様であることを念頭におき、固定観念にとらわれない表現をするよう努めます。	<p>① 毎月1回発行の広報とまこまいに、行事・情報などを随時掲載。市公式HPや市公式Facebookに、行事・情報などを掲載</p> <p>② 北海道発行の「男女平等参画の視点からの公的広報の手引きの活用」をホームページで周知</p> <p>③ ・広報とまこまいや市フェイスブック、HPIにおいて各イベント・事業を紹介 ・上下水道部広報紙「水だより」を平成31年1月に86,000部発行し、市内全戸に配布</p>	<p>① 男女平等参画について、掲載依頼のあったもの以外についても、関係する話題などがあれば積極的に広報活動に努める</p> <p>③ ・引き続き、固定概念にとらわれない表現に努める ・男女を問わず、広く市民に向けた情報発信を念頭に発信している。来年度からは、「民間提案制度」を活用した「水だより」を発行予定</p>	<p>① 【継続】</p> <p>② 【継続】</p> <p>③ 【継続】 平成30年度と同様に、上下水道部広報紙「水だより」を令和元年12月に市内全戸配布する。「民間提案制度」を活用し、水にまつわる書道やインタビューなどを掲載し、市民参加型の紙面作りを計画</p>	<p>①総合政策部 秘書広報課 ②総合政策部 協働・男女平等参画室 ③関係部署 上下水道部総務課</p>
24	あらゆる暴力の根絶 あらゆる暴力の根絶 セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為、売買春など、人権を侵す行為の根絶に向けて、関係機関と連携し、予防のための啓発に努めます。	<p>① ・関係機関からの情報収集と提供 ・男女平等参画情報誌「ふりーむ」、ホームページ等で相談窓口の周知を図る ・女性の人権講演会「若年層への性暴力とポルノ被害を学ぼう」2月開催、参加者70人 ・DV防止啓発事業の実施～女性に対する暴力をなくす運動週間に合わせ11月を啓発月間とし、館内(活動センター1階・4階)に啓発パネルの掲示と来場者への啓発、パープルリボン・カンパジの配布を行う</p> <p>② 関係機関からの資料情報収集、提供</p>	<p>② 関係機関への効果的な情報の提供方法が課題</p>	<p>① 【継続】 ・12月にハラスメントに関する啓発事業を実施予定 ・ハラスメント相談の実施(6・12月)</p> <p>② 【継続】</p>	<p>①総合政策部 (協働・男女平等参画室) (指定管理施設/男女平等参画推進センター)</p> <p>②健康こども部 こども支援課</p>

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
基本目標Ⅱ 配偶者等からの暴力の根絶(DV防止計画) / 推進の方向1 配偶者等からの暴力防止に向けた啓発の推進					
25	<p>広報・啓発活動の推進</p> <p>(1)配偶者等からの暴力防止に向けた啓発 配偶者やパートナー、親密な関係にある男女間の暴力など、男女平等参画を阻害する暴力は許さないという意識が、社会全体で共有されるよう啓発に努めます。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性に対する暴力をなくす運動期間中(毎年11月12日～25日)、市内施設2か所でパープルライトアップの実施及びホームページ、フェイスブックで周知</li> <li>・関係機関からの情報収集と提供</li> <li>・男女平等参画情報誌「ふりーむ」、ホームページ等で相談窓口の周知を図る</li> <li>・女性の人権講演会「若年層への性暴力とポルノ被害を学ぼう」2月開催、参加者70人</li> <li>・DV防止啓発事業の実施～女性に対する暴力をなくす運動週間に合わせ11月を啓発月間とし、館内(活動センター1階・4階)に啓発パネルの掲示と来場者への啓発、パープルリボン・カンバッジの配布を行う</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口にリーフレットを配置</li> </ul>		<p>① 【継続】</p> <p>② 【継続】</p>	<p>①総合政策部(協働・男女平等参画室) (指定管理施設/男女平等参画推進センター)</p> <p>②健康子ども部子ども支援課</p>
26	<p>(2)若年層に対する予防啓発 交際相手からの暴力に関する若者への理解を促進するよう啓発に努めます。</p>	<p>デートDV防止啓発のための中高校等への出前授業を20校で実施</p>	<p>平成30年度は実施希望が多く、実施予定校数の上限まで申し込みがあったため、来年度から実施校数を20校から27校に拡大する</p>	<p>【継続】</p>	<p>総合政策部協働・男女平等参画室</p>

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
基本目標Ⅱ 配偶者等からの暴力の根絶(DV防止計画) / 推進の方向2 DV被害者への支援体制の充実					
27	相談体制の充実 (1)専門相談員による相談体制の充実 相談窓口の周知に努め、相談者に対して専門の相談員が助言・指導を行うなど相談体制の充実を図ります。	女性相談員の配置	相談員1名で対応しているため、2件以上の来所相談となると対応し切れないケースもある	女性相談員の配置継続	健康こども部 こども支援課
28	(2)相談における2次被害の防止の徹底 市の関係部署において窓口担当者等が被害者に対応するとき、被害者に2次被害が生じないよう配慮に努めます。	① 住民基本台帳事務におけるDV等の支援措置申出者の住所等の取扱等について、他課においても慎重な対応を促すため、申出者の情報を関係部局に提供し、住所の取扱に対する注意喚起を行う。支援措置申出を受理する際、各人の状況によって窓口以外の相談室などでも受付をするなど配慮する  ② 被害者の二次被害防止のため、市役所各種手続きのこども支援課によるワンストップサービスを継続	① 住所等の取扱についての注意喚起を今後も継続して実施しつつ、受付対応についても継続して配慮する。基幹システムの更新により他課情報共有が容易に可能となったが、運用変更となったことから情報管理において注意が必要  ② 異動等で毎年関係各課への協力要請が必要	① 【継続】  ② ワンストップサービスの継続	①市民生活部 住民課 ②健康こども部 こども支援課
29	支援体制の充実 (1)民間シェルター支援 ドメスティック・バイオレンス等の被害女性の保護や自立支援を行う民間シェルターを運営する団体に対し、財政支援を行い、連携しながら被害者支援の充実を図ります。	・民間シェルターへ財政支援 シェルター運営費の一部として、家賃と光熱水費の実支出額を補助		【継続】	総合政策部協働・男女平等参画室
30	(2)被害者自立の支援 被害者の状況に応じて、自立を支援するための制度の情報提供や周知に努めます。	① DV被害者が総合福祉課の窓口へ相談に来る場合があり、こども支援課へ繋いでいる  ② 女性相談員による被害者への情報提供	① 相談者がDV被害者であることをすぐに話さない場合もあり、丁寧な聞き取りが必要  ② 制度の改正等があるので、常に新しい情報を更新していく必要がある	① 引き続き窓口の広報に努める。(総合福祉課窓口の広報を強化することにより、DV被害者の来訪機会増が見込まれるため)  ② 【継続】	①福祉部総合福祉課 ②健康こども部 こども支援課

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
31	支援体制の充実 (3)関係機関と連携した被害者支援 警察、民間シェルターなど関係機関と連携し、被害者の保護支援に努めます。	① ・警察、民間シェルター、関係機関等と連携し、被害者の二次被害防止に配慮した保護支援を継続 【新規】・DV被害者等アフターサポート業務を民間シェルターに委託して実施  ② 被害者の二次被害防止及び負担軽減のために、警察、民間シェルター等と連携して支援を継続	② 異動等で毎年の連携確認が必要	① 【継続】  ② 【継続】	①総合政策部 (協働・男女平等参画室) (指定管理施設/男女平等参画推進センター)  ②健康子ども部子ども支援課

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
基本目標Ⅲ あらゆる分野への男女平等参画の推進(女性活躍推進計画) / 推進の方向1 ワーク・ライフ・バランスの推進 ①家庭生活と他の活動との両立支援					
32	家庭生活における男女平等参画の促進と他の活動との両立支援 家事・育児・介護等家庭生活における固定的な役割分担意識の是正のための啓発を行うとともに、家庭生活と他の活動を両立させるための制度等の周知に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な講座・講演会に男性の参加を推進</li> <li>・家庭生活に関する講座の開催</li> <li>(ア)男性を対象にした料理講座「男のキッチン」5-6月・10-11月開催、参加者延べ245名</li> <li>(イ)親子を対象にした料理講座「小学生親子料理教室」7月開催参加者延べ60名</li> <li>・子育て中の方・家族を対象にした講座</li> <li>(ア)女性のエンパワーメント講座「子育て中の私を大切にするために「ママのための体と心のセルフケア」8月開催、参加者15名</li> <li>(イ)女性のための健康講座「ママを元気にする育児ストレス解消法」11月開催、参加者20名</li> <li>(ウ)女性活躍推進講座「がんばってなくても大好きだよ」～池永流・ワタシと子どものごきげんの見つけ方～2月開催、参加者20名</li> <li>(エ)ワークライフバランス講座「子育てを大変から楽しいに変える魔法」2月開催、参加者63人</li> </ul>			総合政策部 (指定管理施設/男女平等参画推進センター)
33	(2)出産・育児に関する学習機会の充実 これから子を育てる親に対し、妊娠から育児までともに学ぶ機会の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>(ア)パパママ教室を隔月で日曜日に6回開催、参加者189組</li> <li>(イ)パパカフェを開催</li> <li>・生後4か月～1歳未満の児と父親を対象に親子遊びの紹介、先輩パパの小講話、交流会等を実施 日曜日に3回開催 参加者24組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(ア)周知は行ったものの参加数は減少</li> <li>→次年度は実施回数を減らし、1回あたりの参加数を増員して実施</li> <li>(イ)運営を直営へ変更する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) <ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回、1回の定員を48名とする</li> <li>・教室参加時に、父子健康手帳を持参してもらい活用法を周知する</li> </ul> </li> <li>(イ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・周知の徹底を図り、年2回実施</li> <li>・父親が楽しんで育児参加できる内容を盛り込む</li> </ul> </li> </ul>	健康子ども部 健康支援課

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
34	家庭生活における男女平等参画の促進と他の活動との両立支援	(3)職場中心の意識やライフスタイルの見直し 仕事と家庭生活の調和をとりながら暮らせるよう働き方や意識の見直しを進める啓発に努めます。	①イクボス養成講座及びワーク・ライフ・バランス講座の実施 (ア)育児休業者向け相談会の実施 (イ)育児に関する三者面談の実施 【新規】(エ)メンター制度の施行  ②管理職や労務担当者向けに働き方改革の具体策やワークライフバランスについてのセミナーを開催。職場環境の改善を進め定着率の向上へとつなげる離職防止等処遇改善事業を実施	①男性職員に対する三者面談の強化  ②【継続】	①総務部行政監理室 ②産業経済部工業・雇用振興課
35	多様なライフスタイルに対応した子育て、介護支援	(1)多様な保育サービスの提供 一時保育や休日保育・延長保育をはじめさまざまな形態で働く男女に配慮した多様な保育サービスの提供に努めます。	①一時保育事業(保育所型):5園実施、延4,524人利用 一時保育事業(幼稚園型):4園実施、延4,272人利用 休日保育事業:2園実施、延499人利用 延長保育事業:11園実施 延8,348人利用 病児・病後児保育事業:3園実施  ②ファミリーサポートセンター事業継続 提供会員 154名 依頼会員 1,429名 両方会員 28名 利用件数 4,478件	①病児・病後児保育を新規で2園開設するなど、一層の保育サービス向上に努める  ②依頼会員に対し、提供委員が不足している	①健康こども部こども育成課 ②健康こども部こども支援課
36	(2)子育て支援センター・児童館の設置と利用促進 子育て支援センターや児童館を増設し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和するなど、子どもの健やかな育ちを促進します。	①利用者支援員の出張窓口を子育て支援センターに設置し、子育ての不安感解消や積極的な情報発信に努める ・子育てルーム:3ヵ所実施 ・子育て支援センター:1ヵ所実施 ・談件数延べ668件 ・プレイルーム延べ利用者数35,761人 ・支援センターにおける利用者支援員への延相談件数 410件  ②市内7館の児童センターの運営 ・利用者数123,141人(前年比6,658人増)	①利用者支援員が子育て支援センターに相談窓口を設置して2年が経過しているが、共同でのイベント開催など相乗効果が生まれており、今後も一層の協力体制構築に努めたい  ②北栄児童センターがH30.10.29に開館したため、さらなる周知に努める	①【継続】 ②児童センターの運営	①健康こども部こども育成課 ②健康こども部青少年課



平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
37	多様なライフスタイルに対応した子育て、介護支援 (3)子どもの発達・育児などの相談の充実 子どもの発達や育児についての理解を深めるために、子育て教室や相談体制の充実を図ります。また、子育て中の親子が集まり、気軽に仲間づくりができる場の充実に努めます。	① とまベビータイム(1歳未満児対象)を各児童センターでそれぞれ年5回実施  ② (ア)赤ちゃん教室の実施 2ヶ月 12回実施285組参加 7ヶ月 24回実施471組参加 12ヶ月 12回実施191組参加 (イ)子育て世代包括支援センターの設置 妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じ、安心して妊娠期から子育て期までを過ごせるように切れ目ない支援を行う 健康対策課窓口、電話での相談実人数 561名	① 前年度より参加者が増えているため、今後も関係課と連携しながら参加者への周知する  ② 参加者が減少しているため、周知の徹底を図る	① 各児童センターでそれぞれ年5回実施  ② 【継続】	①健康こども部青少年課 ②健康こども部健康支援課
38	(4)ひとり親家庭の支援 ひとり親家庭からの生活・養育相談に対応するために、専門相談員による助言・指導を行うなど相談体制の充実を図ります。	(ア)母子父子自立支援員の配置を継続 (イ)母子家庭等自立支援給付金、母子家庭等児童入学援助金、ひとり親家庭学習支援事業、ひとり親家庭等日常生活支援事業、児童扶養手当の支給を継続	【継続】	【継続】	健康こども部 こども支援課
39	(5)障がいのある子どもに関する相談・指導体制の充実 障がいのある子どもやその家族に対して、相談や指導の支援体制の充実を図ります。	・障がいや発達の遅れのある児童に対する相談数159名(こども相談室あいす) ・療育支援を行う児童発達支援事業所(こども通園センターおぞら園)実利用数504名	【課題】 発達相談申込から実施までの待機期間の長期化 →発達相談希望件数増加のため、申し込みから実際の面接までに3ヶ月ほど、更に通所希望の場合指導開始までに2か月ほどを要している  【改善点】 ・民間の相談支援事業所の活用による待機期間の短縮 ・相談支援業務に関わる職員増員による待機期間の短縮 ・人員体制の整備を行うとともに、民間の相談支援・通所支援事業所との協働・連携を図る	【継続】	福祉部発達支援課

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
40	多様なライフスタイルに対応した子育て、介護支援 (6)児童虐待に関する支援 児童虐待や養育困難などの相談に対応するための専門相談員による助言・指導を行うなど、相談体制の充実を図るとともに、関係機関と連携をとりながら要保護児童とその家族の支援に努めます。また、児童虐待の予防策として、育児不安や親の孤立化を防ぐための支援の充実を図ります。	① (ア)苫小牧市要保護児童対策地域協議会運営 代表者会議1回 実務者会議13回 ケース会議106回 (イ)児童相談員の配置 (ウ)専門職員の配置 (エ)養育支援訪問事業 支援世帯数10世帯 延べ支援回数130回  ② (ア)生後4か月までの乳児に対し、保健師または助産師が全戸訪問(こんにちは赤ちゃん事業)を実施、982名を訪問 (イ)養育支援の対象者に保健師が家庭訪問を実施、171ケース実施(数はH31.2.18現在)		① (ア)苫小牧市要保護児童対策地域協議会運営継続 代表者会議1回 実務者会議12回 ケース会議80回 (イ)児童相談員配置継続 (ウ)専門職員配置継続 (エ)事業の継続  ② 【継続】	①健康こども部こども支援課 ②健康こども部健康支援課
41	(7)介護に対する相談支援体制の充実 介護に対する不安や悩みに対して、相談支援体制の充実を図ります。	在宅介護家族講座 参加者数11人	相談支援機関周知の充実	【継続】 【新規】就労者を対象にした相談機関リーフレットを配布	福祉部介護福祉課

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
基本目標Ⅲ あらゆる分野への男女平等参画の推進(女性活躍推進計画) / 推進の方向1 ワーク・ライフ・バランスの推進 ②就労等における男女平等の確保					
42	男女平等な雇用環境の整備 (1)男女雇用機会均等法の周知募集・採用・配置・昇進など雇用管理での女性への差別を禁止した男女雇用機会均等法の周知に努めます。	ホームページなどにより法制度の周知を実施。さらに、経営者・管理職向けに女性の労働力を活かす人材戦略などのセミナーを行い、働きやすい職場づくりを支援する離職防止等処遇改善事業を実施		【継続】	産業経済部工業・雇用振興課
43	(2)企業におけるワーク・ライフ・バランスの普及促進 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の意識の醸成を図り、普及促進に努めます。	① ・行政監理室と連携して官民合同研修「ワーク・ライフ・バランス講座」及び「イクボス養成講座」10月開催 参加者約50人 【新規】・「苫小牧市ワークライフバランス等企業表彰式」12月開催 参加者約100人 【新規】・苫小牧市ワークライフバランス等企業表彰の結果をホームページで周知 ② 競争入札参加資格審査申請における格付の評価項目に「男女平等参画やワーク・ライフ・バランスの取組の推進」の項目を設定 ③ 管理職や労務担当者向けに働き方改革の具体策やワークライフバランスについてのセミナーを開催。職場環境の改善を進め定着率の向上へとつなげる離職防止等処遇改善事業を実施	① 社会の動向を把握したうえで の普及促進が課題	① 【継続】 ② 令和元年度中に行われる競争入札参加資格追加登録・補充登録においても同様の項目を設定 ③ 【継続】	①総合政策部協働・男女平等参画室 ②財政部契約課 ③産業経済部工業・雇用振興課
44	(3)女性労働者の能力発揮促進 企業において、女性を積極的に活用し、能力発揮の取組がされるよう、関係機関と連携し啓発に努めます。	経営者や管理職向けに女性の労働力を活かす人材戦略などのセミナーを実施。女性の離職防止や定着率の向上を支援する離職防止等処遇改善事業を実施。		【継続】	産業経済部工業・雇用振興課
45	(4)セクシュアル・ハラスメント等防止の啓発と相談窓口の周知 労働環境を悪化させるセクシュアル・ハラスメント、マタニティハラスメント等の防止の啓発と相談窓口の周知に努めます。	① 「職場におけるハラスメント相談」6月、11月実施 ② すべての社員が働きやすい職場づくりを支援する離職防止等処遇改善事業を実施	① 男女平等参画推進センターに移管	① 【継続】 ② 【継続】	①総合政策部協働・男女平等参画室 ②産業経済部工業・雇用振興課

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
46	男女平等な雇用環境の整備 (5)男女雇用機会均等法に基づく紛争解決援助制度の周知 職場における男女差別など男女雇用機会均等法に基づく労働者と事業主の間の紛争解決のための援助など制度の周知に努めます。	ホームページなどにより法制度を周知		【継続】	産業経済部工業・雇用振興課
47	(6)育児・介護休業法や働く女性の健康管理制度の周知 育児・介護休業法や働く女性の母性保護や母性健康管理制度の周知に努めます。	ホームページなどにより法制度を周知		【継続】	産業経済部工業・雇用振興課
48	女性の就業機会の拡大 (1)女性の再就職支援 結婚・育児・介護などを理由として退職した女性の再就職支援のために、関係機関と連携し相談や学習機会の充実に努めます。	① ・苫小牧公共職業安定所の実施するマザーズハローワーク事業を共催 (1)ビジネスマナーセミナー:1・3月開催 参加者延べ16名 (2)パソコン短期セミナー:6・1月開催 参加者延べ93名 (3)メイクアップセミナー:6・9・1月開催 参加者延べ43名 ・関係機関からの情報収集と提供  ② 【新規】出産・子育て等を理由に離職し、再就職を希望している方を対象に、育児中でも参加しやすいよう託児付コースを設け、各種研修と職場実習を行い職場復帰を図る、なでしこ就職応援事業を実施	① 女性活躍促進を目指す事業を展開予定	① 【継続】  ② 【継続】	①総合政策部(指定管理施設/男女平等参画推進センター)  ②産業経済部工業・雇用振興課

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
49	女性の就業機会の拡大  (2)再就職や就業形態に関する情報収集・提供 再就職や起業を目指す女性のための情報や在宅勤務・SOHOなどの新しい就業形態の情報の収集と提供に努めます。	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のための起業セミナー7月開催 参加者13名～苫小牧市中小企業創業サポート事業と共催により実施</li> <li>・女性のためのキャリアカウンセリング:6・11・1月開催 相談者1名</li> <li>・関係機関からの情報収集と提供</li> </ul> <p>【新規】・北海道女性起業家支援ネットワーク事業 女性のための起業相談9-12月開催 相談者延べ45名</p> <p>【新規】・女性活躍推進事業 女性のための生きる・働く・起業相談 1-3月開催 相談者延べ54名</p> <p>【新規】・日本金融政策金融公庫主催 女性のための創業相談会11月開催 相談者延べ2名</p> <p>【新規】・女性活躍推進事業もやもやおはなし会12・2月開催 参加者延べ23名</p> <p>【新規】・図書資料室に女性の就業や起業に関する図書資料を配置。また、wi-fiルータを新規設置。有料コピーやスキャナも配置し、コワーキングスペースとしての活用を周知</p> <p>【新規】・キャリアコンサルタントが常勤し、随時相談が受けられる体制を整えた</p> <p>②</p> <p>【新規】出産・子育て等を理由に離職し、再就職を希望している方を対象に、育児中でも参加しやすいよう託児付コースを設け、各種研修と職場実習を行い職場復帰を図る、なでしこ就職応援事業を実施</p>	<p>①</p> <p>女性活躍促進を目指す事業を展開予定</p>	<p>①</p> <p>【継続】</p> <p>②</p> <p>【継続】</p>	<p>①総合政策部(指定管理施設/男女平等参画推進センター)</p> <p>②産業経済部工業・雇用振興課</p>
50	多様な働き方における労働環境の整備  (1)パートタイム労働に関する情報提供と実態の把握 企業や労働者への短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律(パートタイム労働法)の周知や、関連情報の提供を関係機関と連携して行います。また、企業の協力を得て、実態の把握に努めます。	<p>正規従業員5人以上を雇用している事業所を対象に労働基本調査を実施、結果はホームページに掲載</p>		<p>【継続】</p>	<p>産業経済部工業・雇用振興課</p>

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
51	多様な働き方における労働環境の整備  (2)農業・水産業・商工自営業等における女性の参画促進 雇用の形態をとらない農業や漁業、商工自営業において、男女がともに生産や経営に重要な役割を担っていることから、経営や方針決定への女性の参画促進を図ります。	「人・農地プラン(平成24年9月作成)」の見直しに係る検討会を不定期に開催、平成30年度は平成31年3月に実施、女性の参画の可能性を探った	農山漁村における男女平等共同参画社会の形成促進を進めるため、農業女子の活動などを情報収集していきたい	本市独自の取り組みとして、男女の平等な就労に関する施策を行うことは困難であるが、「人・農地プラン」の見直しに係る検討会において、女性の意見が反映されるよう実施する	産業経済部農業水産振興課

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
基本目標Ⅲ あらゆる分野への男女平等参画の推進(女性活躍推進計画) / 推進の方向2 地域社会への男女平等参画の促進					
52	地域社会への男女平等参画の促進 (1)地域活動への男女平等参画の促進 誰もがいきいきと暮らすことができる地域社会をつくるために、町内会やPTA、ボランティアなどの活動への参画を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードバンク寄贈の窓口設置</li> <li>・地域食堂の実施</li> <li>・高校生の自主企画や地域活動の支援</li> <li>・平成31年3月28日から平成31年4月3日までの期間、市役所1階ロビーにおいて町内会だよりの掲示及び町内会加入窓口を設置</li> <li>・緑ヶ丘公園まつりでの町内会リーフレット配布</li> <li>・町内会ブロック別意見交換会の実施</li> </ul>	課題 受け身のボランティア活動 →自発的で継続可能な活動へ	自分の力を地域で発揮できるようにまちづくりサポーター養成講座(仮)の実施	市民生活部市民生活課
53	(2)地域社会への男女平等参画の重要性の啓発 誰もが地域の一員として町内会やPTAなど地域活動に参画し、責任ある役割を担う重要性について理解を深めてもらうよう努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月男女共同参画週間にあわせて男女平等参画に関する啓発を実施</li> <li>・男女平等参画講座 平等社会について語ろう～気づき合うわたしたち～ 5・7・11月開催、参加者延べ31名 地域や職場などにおける課題解決について話し合う機会とした</li> <li>・地域防災講座 3月開催、参加者17名 風呂敷を防災用品として扱う方法や防災用品の展示、自助・公助・共助や地域の防災について学ぶ機会とした</li> </ul>		継続	総合政策部(指定管理施設/男女平等参画推進センター)
54	防災分野への男女平等参画の促進 (1)地域防災における男女平等参画の促進 防災や災害復興において男女のニーズを考慮し、女性の視点を活かした地域防災組織の活動を促進します。また、地域で活動する消防団においては、女性の参画を促進し地域住民に対する防火指導や啓発活動に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災や災害復興において男女のニーズを考慮した対策を検討し、女性視点での対策についても防災ハンドブックや市ホームページ等で周知した。また、避難所でのプライバシー考慮のため、間仕切りセットを備蓄品として購入</li> <li>② 幼稚園等の園児を対象とした防火教室、イオン苫小牧ショッピングセンターでの防火イベントに女性消防団員が参加し、防火指導や防火啓発活動を実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>① 継続して、出前講座や防災訓練による啓発活動、避難所でのプライバシー配慮のための備蓄品購入を検討</li> <li>② 幼稚園等の園児を対象とした防火教室等、女性消防団員による防火指導や防火啓発活動を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市民生活部危機管理室</li> <li>②消防本部</li> </ul>
55	(2)防災に関する学習機会の提供 防災の分野において男女がともに活躍するための防災セミナーなど学習機会の充実に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 町内会や団体向けの出前講座を通して、男女が活躍するための防災について学習ができる機会を提供</li> <li>② 女性応急手当指導員による救命講習会の開催を継続</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>① 研修講師派遣依頼に積極的に協力し、学習機会の充実に努める</li> <li>② 女性応急手当指導員による救命講習会の開催を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市民生活部危機管理室</li> <li>②消防本部</li> </ul>

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
56	男女平等参画の視点を生かした国際交流の促進  (1)異文化・価値観の多様性を理解するための学習機会の充実 男女平等参画の推進が世界の動きと連動していることから国際的認識を深めるために、学校教育、社会教育において異文化や価値観の多様性の理解を深める学習機会の充実に努めます。	① ・英会話講座 前期・後期2回(18日間)開催 参加者延べ308名 ・料理講座「お家フレンチ」前期1回(4日間)開催 参加者延べ56名 ② ・生涯学習講座で外国語講座の実施 ・高校生ボランティア局へSDGsについて紹介 ③ 外国語指導助手(ALT)を各学校に派遣	② 課題 語学の習得のみの講座に留まっている事 →交流を視野に入れた事業の実施  ③ 外国語指導助手(ALT)を全小・中学校へ派遣し、小学校外国語活動や中学校外国語等の指導の充実に努める	① 【継続】 ② 苫小牧市に住む外国人との交流事業を計画  ③ 【継続】	①総合政策部(指定管理施設/男女平等参画推進センター) ②市民生活部市民生活課 ③教育部指導室
57	(2)「草の根」国際交流の実現 多くの市民が国際交流に関わるきっかけをつくるために、外国人と気軽に交流できる機会を提供します。	・ぐる〜りWorld交流会(8月実施:137人) ・ぐる〜りWorldフェスタ(2月実施:150人) ・国際理解講座(3回実施:計99人) ・こども国際バスツアー(1月実施:21人) ・絵本読み聞かせ(6月実施:50人) ・日本語講師講座(2回実施:計17人)	イベント開催に加え、日本語教室の実施や国際化推進事業の充実により、より多くの市民が気軽に参加できる機会を創出する必要がある	前年度と同様に事業を実施するほか、公共サービス民間提案制度による事業の委託を検討	総合政策部協働・男女平等参画室



平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
基本目標Ⅲ あらゆる分野への男女平等参画の推進(女性活躍推進計画) / 推進の方向3 政策・方針決定過程への女性の参画拡大					
58	審議会等への女性の参画の促進 (1)審議会等への女性の参画促進 市が設置する審議会・委員会等の女性委員の割合については、段階的に目標を立てて達成していきます。	① (ア)関係各課に対し、女性委員の登用促進を呼び掛けるとともに、団体推薦の依頼文に「女性委員の推薦に係る要請文」を掲載するよう促す 【新規】(イ)関係各課に対して、ヒアリングを実施	① 団体推薦によっては、推薦先の意向もあるため、難しい状況もある 今後も関係各課や推薦団体への働きかけを継続し、女性登用にに向けた意識改革が必要	① 【継続】 (ア)～(イ)	①総務部行政監理室 ②関係部署
59	(2)公募制の促進、重複登用の制限 女性委員の登用を図る方法として、委員の選出には原則として公募制を取り入れます。また、さまざまな審議会の性質を考慮し、同一人の重複登用を制限し、適切な人材登用を図ります。	附属機関等の委員の選任に関する要綱において、「附属機関等の設置目的、所掌事項等を勘案したうえで、公募により選任する委員の比率を高めるよう努めること」、また、「同一の附属機関等において同一人を再任する場合は、原則として、その在任期間が引き続き10年を超えないこと」、「同一人を複数の附属機関等に重複して選任しようとする場合は、原則として4機関までとすること」と定めており、これら規定を庁内へ周知徹底することで適正な運用に努める	① 今後も附属機関等の委員の選任に関する要綱の規定について庁内へ周知徹底することで、継続して適正な運用に努める	【継続】 委員の公募や任期更新の際の行政監理室への合議の徹底を図ることで、適正な運用に努める	①総務部行政監理室
60	(3)人材情報の収集 市の審議会等への登用を促進するために、地域や団体等で活躍する女性の人材の情報収集に努めます。	① ・女性人材バンク登録者募集 ホームページ、フェイスブックで周知、市内イベント等でチラシ配布 47人登録(うち審議会登用10機関・10名)	① 新規登録者を増やすため、登録者募集の周知に努める	① 【継続】 【新規】女性人材バンク登録者研修会の実施	①総合政策部協働・男女平等参画室
61	市女性職員の登用促進及び職域拡大 市女性職員の採用、職域拡大、管理職への登用促進を図り、行政における女性の参画を促進します。	(ア)女性職員の管理職への更なる登用促進を図る (イ)管理職向け、係長職向け及び一般職向けの女性活躍に関する研修を実施	女性職員の採用数を増やすため、女性受験者数増を目指す	【継続】(ア)～(イ) 【新規】大学等への採用に関する周知活動の強化	総務部行政監理室
62	企業や団体等における女性の参画の促進 (1)企業や団体等における女性の参画促進 企業や団体等において、方針決定過程への女性の参画が促進されるよう、さまざまな機会をとらえ、関係機関と連携を図り情報の提供等を行い啓発に努めます。	・関係機関からの情報収集、提供 ・女性活躍推進法についてホームページで周知	関係機関との連携の強化に努める	【継続】	総合政策部協働・男女平等参画室

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
63	企業や団体等における女性の参画の促進	(2)女性の参画状況の把握 企業や団体等における女性の参画状況の把握に努めます。	正規従業員5人以上を雇用している事業所を対象に労働基本調査を実施、結果はホームページに掲載	【継続】	産業経済部工業・雇用振興課
64	女性の能力向上	能力向上の取組 さまざまな分野で女性が参画するために、エンパワーメントの学習会の開催などの取組を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等参画講座 平等社会について語ろう～気づき合うわたしたち～ 5・7・11月開催、参加者延べ31名</li> <li>・女性のための起業セミナー7月開催、参加者13名</li> <li>・健康講座「ストレスに負けない7つの習慣」8月開催、参加者15名</li> <li>・女性のエンパワーメント講座 子育て中の私を大切にするために「ママのための体と心のセルフケア」8月開催、参加者15名</li> <li>・男女平等参画推進講演会「女性の今と未来(これから)について考える」9月開催、参加者46名</li> <li>・女性のための健康講座「ママを元気にする育児ストレス解消法」11月開催、参加者20名</li> <li>・女性活躍推進講座「がんばってなくても大好きだよ」～池永流・ワタシと子どものごきげんの見つけ方～2月開催、参加者20名</li> <li>・ワークライフバランス講座「子育てを大変から楽しいに変える魔法」2月開催、参加者63人</li> <li>・地域防災講座 1枚で多彩な防災用具に早変わり!「防災ふろしき講座」3月開催、参加者17人</li> <li>・女性の人権講演会「若年層への性暴力とポルノ被害を学ぼう」2月開催、参加者70人</li> <li>・日本金融政策金融公庫主催 女性のための創業相談会11月開催 相談者延べ2名</li> <li>・女性活躍推進事業もやもやおはなし会12・2月開催 参加者延べ23名</li> <li>・家庭生活に関する内容、男性も参加できる内容、日本文化伝承の内容等、様々な角度からの生涯学習講座を企画、開催 前期講座・後期講座・時期的講座 全29講座 受講者延べ2207名</li> </ul>		総合政策部 (指定管理施設/男女平等参画推進センター)

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
基本目標Ⅳ 健康でいきいきと暮らせる環境の整備 / 推進の方向1 生涯にわたる健康づくりの推進					
65	<p>健康の保持・促進</p> <p>(1)健康管理や病気予防対策の充実 市民の心身の健康管理や病気予防のために、特定健康診査や各種がん検診の受診率向上と予防対策や相談体制の充実を図ります。</p>	<p>①</p> <p>1)特定健診・特定保健指導 対象者:40~74歳 自己負担:無料 健診受診率 目標40% 実績34.0% ※実績は、平成31年3月28日現在の平成30年度速報値(平成29年度法定報告値は35.0%) 保健指導終了率 目標20% 実績18.8% ※実績は、平成29年度の法定報告値(特定保健指導の終了率は、翌年度9月頃に終了率が判明するため、前年度の実績値で評価)</p> <p>2)【新規】プレ特定健診 対象者:35~39歳 自己負担:無料 内容 若年の内から健診受診の習慣づけを図ることを目的とし、特定健診と同様の検査項目で実施 健診受診率 見込20% 実績12.3% ※実績は、2月受診時点までの速報値で喪失者を除外していない数値(確定は特定健診と同時期の9月頃を予定)</p>	<p>①</p> <p>1)特定健診については、ハガキ・電話・訪問勧奨を継続して実施し、対象者の抽出や勧奨内容を工夫し効率的に行ってきた。また、イベントや健康教室でも勧奨を実施した結果、目標値には達しないものの前年受診率を上回る見込みである。保健指導は対象者全員に電話勧奨は行っているものの、なかなか指導に結びつかないことから、委託機関とも協議しメニューの見直し等を進め、直営実施も継続的に言い利用率向上を図る</p> <p>2)対象者には、当初発送、随時発送にて受診券を送付し、国保加入手続きの際の案内や広報等で特定健診同様勧奨を行ったが、受診率は見込20%を下回った。次年度以降は周知方法に工夫を加えつつ、認知度の向上を目指す</p>	<p>①</p> <p>1)前年度と同様受診勧奨を実施し、H31年度の特定健診受診率目標42%、保健指導終了率目標24%の達成に向けて取組を強化する。第2期データヘルス計画及び第3期特定健診等実施計画に基づき健康意識の向上と受診率向上に取り組む</p> <p>2)対象者への受診券発送に加え、前年度同様国保加入手続きの際の案内や広報等による周知を行う</p>	<p>①市民生活部 国保課 ②健康こども部 健康支援課</p>

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
65	健康の 保持・ 促進	<p>3)各種ドック受診料助成事業 対象者:30~74歳 ・人間ドック 定員350人 受診346人 自己負担 8,000円 助成19,355円 ・脳ドック 定員220人 受診218人 自己負担 8,000円 助成18,743円 ・PET-CT 定員100人 受診96人 自己負担 30,000円 助成68,022円</p> <p>4)【新規】がん検診受診費用助成 対象者:40~69歳 内容 同一年度内に、特定健診と市助成のがん検診(胃・肺・大腸)を受診した場合、申請によりがん検診自己負担額を返還するもの 助成対象者数:1,070人 助成件数:2,292件</p> <p>② (ア)がん検診受診数(平成30年度)→集計中 子宮頸がん検診、乳がん検診の対象者のうち、特定年齢対象者に対してがん検診無料クーポン券を送付し、受診促進を図る (イ)健康教育 市民健康教室(10回実施、383名参加) 出前講座(19回 716名) 歯っぴいフェスタ(481名) 健康フェスタ(延4843名)</p>	<p>3)各ドックとも定員を上回る応募(追加募集含む)があったが、通院による疾病判明や資格喪失等により数名のキャンセルが出るため、若干名のキャンセル待ちを随時受け付けている。受診者の定員との差は、人間ドックについては定員割れ、脳・PETについては実施期間終了間際のキャンセルで追加を行えなかったことや、受診勧奨にもかかわらず未受診となったことによるものである。各ドックについては関係機関と定員数や検診内容について協議し検討する必要がある</p> <p>4)特定健診受診者への案内にチラシを同封し、さらに、対象者に申請書を送付し申請を促したことで申請件数が伸びた。次年度は「タダとく健診」を実施するため当事業の申請は減少するものと見込むが、特定健診と同時実施でないがん検診については対象となるため、引き続き勧奨等を実施する</p> <p>② がん検診や健康診断の受診率が低く、市民講座や様々なイベント、企業との連携を通じて啓発活動に努める</p>	<p>3)定員は、前年同様人間ドック350人、脳ドック220人、PET/CT100人で実施する。人間ドック検査項目について前年度から一部変更となるが、委託料は据え置きで実施する。受診率が100%になるよう早期に予約確認等の連絡をする</p> <p>4)特定健診実施前に対象のがん検診を受診した場合や、別機関での健(検)診実施で当該事業の対象となるので、前年同様周知の実施と対象者への申請書送付を予定</p> <p>5)【新規】特定健診とがん検診(胃・肺・大腸)のセット健診で、費用負担なしのタダとく健診を行う。対象者には、5月中旬頃にタダとく健診受診券を送付</p> <p>② 【継続】</p>	<p>①市民生活部 国保課 ②健康子ども 部健康支援課</p>

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
66	健康の 保持・ 促進 (2)生活習慣・食生活の改善指導 健康的な生活習慣の普及啓発 や食生活の改善・指導など健康 づくりを進めます。	・保健センターにて栄養教室を開催(8回) ・運動教室を開催(43回)	前年度の経過を踏まえ、メ ニュー内容を改める	【継続】	健康こども部 健康支援課
67	(3)スポーツ活動の推進 スポーツを生活に取り入れるな ど体力づくりのための活動を支 援します。	・各種スポーツイベントを実施 ・各スポーツ施設において年代・体力に応じた各種スポーツ教 室、事業を実施 ・市ホームページや広報とまこまいに各イベント・教室の日時等 を掲載	・スポーツに関心のない市民 を取り込む ・市民周知に努める	引き続き、各種イベントの 実施、各スポーツ施設に おいて各年代が参加しや すい教室、事業を実施	総合政策部ス ポーツ都市推 進課
68	(4)リプロダクティブ・ヘルス／ラ イツに基づく健康支援 リプロダクティブ・ヘルス／ライ ツの考え方に配慮した女性の生 涯を通じた健康支援を行います。 す。	妊娠期から成人期まで各種検(健)診、訪問、相談等を通し、 個々の健康問題に対応	様々なケースに対応できるよ う、研修などに積極的に参加 し保健師個々のスキル向上 に努める	【継続】	健康こども部 健康支援課
69	(5)女性の健康に関わる問題の 情報収集・提供 女性の健康をおびやかす諸問 題に関し、情報収集と提供に努 めます。	(ア)女性特有のがん検診推進事業の実施 ・1歳6か月児健診、3歳児健診で乳がんモデルを設置 ・保護者向けに自己触診ポスター、シャワーカードを配布 (イ)若年層の子宮がん検診の普及啓発 ・成人式において啓発チラシ付あぶら取り紙を配布 ・大学及び専門学校においてポスターの掲示及びリーフレット の設置	左記取組みについては、引き 続き普及啓発に努めるととも に、受診率の向上に繋がる ような周知方法を模索する	【継続】	健康こども部 健康支援課
70	妊娠・ 出産等 に関する健康 支援 (1)妊娠・出産の諸制度の周知と 健康指導 妊娠・出産期の諸制度の周知 に努め、健康指導と相談体制の 充実を図ります。	①母子手帳交付時の対応 ・窓口で保健師・看護師による諸制度の情報を提供 ・「妊婦問診票」によりハイリスク妊婦を早期に把握し継続支援 につなげる 母子手帳新規交付数 1188名 ②妊娠・出産・子育ての理解を深め、子育てを積極的に行う意 欲につなげることを目的とし、妊婦の夫やパートナーに父子健 康手帳を交付(交付数1,226名)	①引き続き、諸制度の内容 周知に努める ②転入者には交付していな かったため、次年度は希望さ れた方には交付する	【継続】	健康こども部 健康支援課

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署	
71	妊娠・ 出産等 に関する健康 支援	(2)妊婦健診等母子保健事業の 充実 妊婦健診や乳幼児健診などの 各種健診と保健指導の充実に 努めます。	・妊婦健康診査の助成(14回分)、超音波検査の助成(4回分) ・新生児聴覚検査の助成 ・乳幼児健診の実施 4か月健診、10か月健診、1歳6か月健診、3歳児健診、乳幼 児すこやか健診 ・1歳6か月健診事 後教室の実施、71回開催、延来所者568名	引き続き、各種健診と保健指 導の充実に努める	【新規】 平成31年度から産婦健康 診査の助成を開始	健康こども部 健康支援課
72	医療体 制の充 実	性が尊重された医療体制 生涯にわたり健康で暮らすため に、市立病院において、医療の 充実に努めるとともに、女性が 受診しやすい環境の整備に努 めます。	・女性スタッフの採用を強化し平成30年度までに安定的な人数 を確保、女性が安心して受診できる環境整備に努める ・平成30年度は理学療法士など女性職員の採用に力を入れる	当院での勤務を志望する女 性医療技術者を増加させる ために、育休等の制度や院 内保育園に関する事など、 当院で勤務する魅力につい て、さらなる情報発信が求め られると考えている	【継続】 昨年度に引き続き、女性 職員の比率を維持すると ともに、女性が受診しやす い環境づくりに努める	市立病院

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署	
<b>基本目標Ⅳ 健康でいきいきと暮らせる環境の整備 / 推進の方向2 高齢者等が安心して暮らすための環境の整備</b>						
73	高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境整備	(1)高齢者に対する福祉の整備 高齢者が健康でいきいきとした生活を送るために、保健・医療・生きがい対策や介護予防システム施策に努め、介護サービスの整備及び質的向上を図り、介護に関する相談体制の充実を図ります。	・住宅改修支援事業 上期 137件 274,000円を支給 下期 114件 228,000円を支給 ①地域包括支援センターとの連携 市内7か所に設置し、情報の共有や共同した活動に努める ②一般介護予防事業対象者把握事業 把握総数 163人 ③地域リハビリテーション活動支援事業 実施回数2回 実施人数54人 ④地域介護予防活動支援事業 ・自主グループ等へ介護予防講師派遣事業の実施 開催回数3回 参加人数19人 ・介護支援いきいきポイント事業の実施 登録者36人 活動延べ人数 2522人 ⑤介護予防普及啓発事業 ・出前講座 24回 参加人数715人 ・介護予防講演会 1回 参加人数160人 ・在宅介護家族講座 1回 11人 ・げんき倶楽部(市内9会場)189回 2583人 ・地域介護予防教室(市内19会場) ⑥認知症サポーター養成講座 ・認知症サポーター養成講座 60回 参加人数2,733人 ・認知症見守りたい養成講座 2回 参加人数168人 ⑦在宅高齢者給食サービス事業 配食人数4,444人 配食数9,8224食 ⑧寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業3,504人に給付 ⑨家族介護慰労金支給事業 実績なし	通いの場を中心とした介護予防の取組方向性を検討予定	・住宅改修支援事業 @2,000円×300件 600,000円の予算を計上 【継続】①～⑥ ⑧寝たきり高齢者等おむつ給付事業3,492人に給付 ⑨家族介護慰労金支給事業4人に支給	福祉部介護福祉課
74	(2)障がい者の福祉と家族への支援 重度の障がい者とその家族に対する自立支援給付や地域生活支援事業による福祉サービスの支援体制の充実に努めます。	・自立支援給付 4,716,257千円 ・地域生活支援事業 100,787千円 ・専門相談員(就労・ろうあ)や手話通訳者の配置、地域活動支援センターその他障害者団体への活動助成等を実施 ・合理的配慮助成金の実施 (※)上記は決算見込額のため、額に変更を伴う場合があります。	苫小牧手話言語条例が施行された後の活動として、手話言語条例を市民へ定着させるため、今後も市民普及の活動が必要	【継続】 手話奉仕員養成講座の基礎編は今年度も実施	福祉部障がい福祉課	

平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
75	高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境整備 (3)高齢者や障がい者にやさしいまちづくり 高齢者や障がい者が社会生活を安全快適に送ることができるよう、各種サービス提供機関や居住空間、公共施設の整備に努め、高齢者等にやさしいまちづくりを推進します。	① ・第2庁舎1階、2階トイレの洋式便器を暖房・温水洗浄便座に変更(6カ所実施済み) ・北庁舎1階の男子トイレ1カ所、女子トイレ2カ所を和式から洋式に変更し、手すりを設置。もともと洋式だったトイレにも手すりを新たに設置 ② ・高齢者無料スペースの確保 ・トイレ表示の配慮 ③ ときわ西公園、川沿6丁目公園、豊川2丁目公園、みどりの公園、桜木2丁目公園、小糸井1丁目公園、春日1丁目公園、ひまわり公園、ひばり公園、双葉3丁目公園の園路等のバリアフリー化を実施	② 課題 高齢者スペース利用者の固定化 →多世代が集える事業の計画 ③ 公園整備後には、関係町内会への公園だよりの配布や、市ホームページ、facebook等を活用し、広報活動に努める	① ・5階、11階の洋式便器を暖房・温水洗浄便座に変更(2カ所実施予定) ・北庁舎2階の男子トイレ1カ所、女子トイレ1カ所を和式から洋式に変更予定 ② 多世代の交流事業の積極的な推進 ③ 川沿1丁目公園、澄川公園、日吉1丁目公園の園路等のバリアフリー化を実施予定	①総務部総務課 ②市民生活部市民生活課 ③都市建設部緑地公園課
76	(4)貧困など生活に困っている方への支援 失業・病気・人間関係などさまざまな問題で生活に困っている方の支援体制の充実に努めます。	生活困窮者自立支援相談支援機関を市直営で実施 ・新規相談数 523件 ・プラン作成件数 104件 ・就労者数 33件	既存の制度の中では、支援の対象となりにくかった人に対する支援方法の確立が必要	【継続】任意事業の4事業(就労準備支援事業、家計改善支援事業、一時生活支援事業、子どもの学習支援事業)を実施 【新規】社会的孤立者を対象とした茶話会を毎月1回実施	福祉部総合福祉課
77	(5)LGBTに対する配慮 LGBTであることを理由とする偏見や差別を無くしていくために、啓発活動を行います。	関係機関からの情報収集と提供		【継続】 【新規】性的マイノリティに関する理解を深めるための講座・学習会等を企画開催	総合政策部(指定管理施設/男女平等参画推進センター)



平成30年度(2018年度)苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次)施策別実施状況調べ

番号	施策の内容	平成30(2018)年度 事業の実施状況	課題及び改善点 新規事業計画等	平成31(2019)年度 事業実施計画	担当部署
78	高齢者や障がい者等の社会参画の促進 (1)高齢者の社会参画支援 高齢者が知識や経験を生かしたボランティア活動や地域活動、就労などさまざまな分野に活躍できるよう、社会参画の支援に努めます。	① 各事業において、ボランティアを募集  ② 単位老人クラブの運営、独自活動に対する支援(市内59老人クラブ)及び老人クラブ連合会の運営等に対する支援  ③ (公社)シルバー人材センターに対し、運営費補助金を交付	① 受け身のボランティア活動から自発的な地域活動への転換	① まちづくりサポーター養成講座の実施  ② 単位老人クラブ及び老人クラブ連合会の運営に対する支援を継続  ③ 【継続】	①市民生活部 市民生活課 ②福祉部総合福祉課 ③産業経済部 工業・雇用振興課
79	(2)障がい者の就労支援 障がい者が地域で生きがいをもって自立した生活を送るために、能力を発揮し、適性や身体状況に応じ多様な働き方を可能にする支援の充実を図ります。	① (ア)障害者就労相談員による雇用の橋渡し ・関係機関(ハローワーク、企業等)との連携 ・当事者との面談、面接同行等 (イ)ジョブコーチ要請研修受講費助成制度の周知、啓蒙  ② 厚生労働省の障害者トライアル雇用終了後、引き続き期間の定めのない労働者として障がい者を雇い入れた事業主に対し、奨励金を交付する障害者雇用奨励金事業を実施	① ジョブコーチに係る事業について、企業側へメニューの提示を引き続き積極的に行い、参加呼びかけを行う  ② 令和元年度より身体障がい者に加え、精神障がい者も対象とし、支援の充実を図る	① 【継続】  ② 【継続】	①福祉部障がい福祉課 ②産業経済部 工業・雇用振興課